

2020年9月17日

## 第20回 日中韓三カ国会計基準設定主体会議を開催

2020年9月1日、日本、中国、韓国の会計基準設定主体による会議がビデオ会議で開催されました。本会議には30名を超える各国の代表者が参加し、参加者には、企業会計基準委員会（ASBJ）の小賀坂敦委員長、中国財政部会計司のZhi Sun 副司長、中国会計準則委員会（CASC）のJuan Zhang 副司長、韓国会計基準委員会（KASB）のEui-Hyung Kim 委員長、香港公認会計士協会のErnest Lee 財務報告準則委員会委員長、マカオ監査人会計士登録委員会のPou Man Ng 委員が含まれています。また、国際会計基準審議会（IASB）のHans Hoogervorst 議長及びJianqiao Lu 理事も本会議に参加しました。

本会議では、日本、中国、韓国（香港特別行政区及びマカオ特別行政区を含む。）の代表者により、最近のIFRS基準の適用及び各会計基準設定主体の法域における会計基準の開発状況について紹介されたほか、COVID-19、連結財務諸表及び基本財務諸表に関連する会計上の問題について詳細な議論を行いました。三カ国の代表者は次の事項について同意しました。

1. 日本、中国、韓国の会計基準設定主体間の協力を引き続き深め、この地域における経済成長の促進と金融の安定の維持に関する能力開発を共同で強化すること。
2. 会計基準に関するテクニカルな議論、並びに最近の研究・プロジェクト、適用上の論点及び発生している問題に関する経験の共有についての三カ国間のコミュニケーションを強化すること。
3. 高品質のグローバルな財務報告基準に貢献するため、IASBの主要プロジェクトの議論に積極的に参加することを通じて、IASBとの情報交換及び協力を促進すること。

三カ国の代表者は、対面による会議が望ましい点で合意に至りました。次回の会議は、対面で開催可能であれば、2021年に中国で開催される予定です。COVID-19のために次回も仮想会議形式で開催しなければならない場合は、韓国が主催する予定です。

以上